

# おびしん金融経済教育

**「将来のために金融リテラシーを  
高めよう！」**



※本資料は令和4年12月6日時点の法律に基づき作成しています  
※出典：金融庁 高校生向け 金融経済教育指導教材  
「高校生のための金融リテラシー講座」

～はじめに～  
金融リテラシーってなに？

日々の家計管理や資産形成、金融取引や保険、金利やローンの知識など、お金と上手に付き合うために必要な知識や判断力のこと



つまり、金融リテラシーが高い人は、

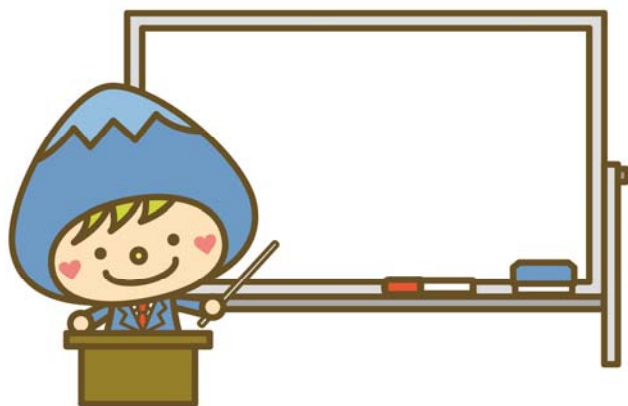
- ① お金のやりくりが上手！
- ② 夢を実現しやすい！
- ③ 金融トラブルに合うことが少ない！



# 成人年齢の引き下げ(2022年4月より)

18歳からできるようになることは  
次のうちどれでしょうか？

- ① 携帯電話を契約する
- ② 一人暮らしの部屋を借りる
- ③ クレジットカードをつくる
- ④ 選挙に行く
- ⑤ 結婚する
- ⑥ お酒を飲む
- ⑦ タバコを吸う





## 成人になるということは？



**自分の意志で様々な契約等ができるようになります。効果や責任は自分に返ってきます。**

**金融リテラシー(知識や判断力)が低いと、本当は自分にとって不必要なものにも関わらず契約してしまうという可能性があります。**

**たとえば、収入に見合わない高級車や住宅を購入してしまったり、ローンの借り過ぎによって多重債務に陥ってしまうことがあります。**

## 今日のテーマ

**「将来のために金融リテラシーを高めよう！」**

### 今日お伝えしたいこと

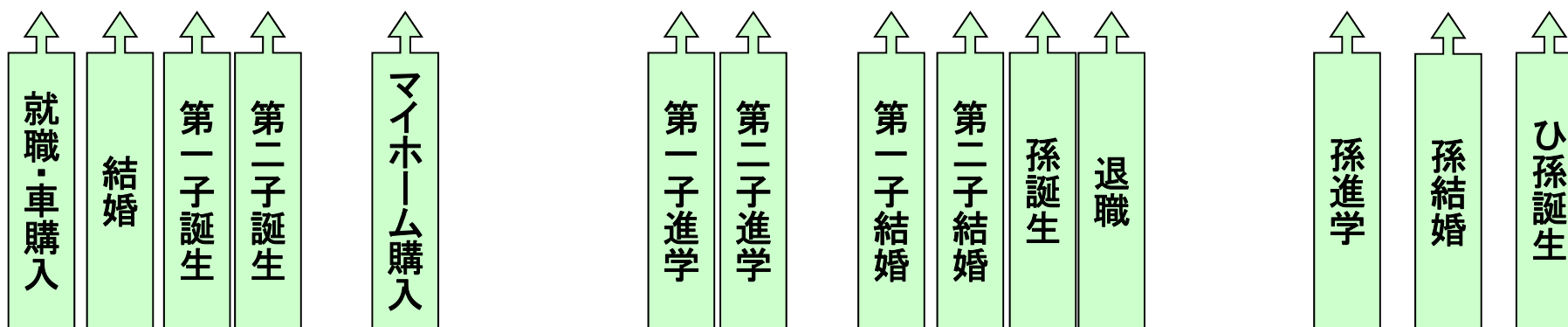
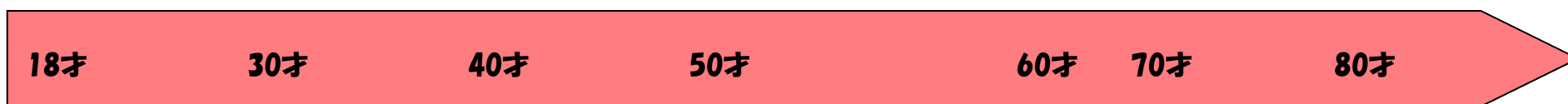
- ① ライフイベント～どれぐらいお金が必要か 6P
- ② 保険のしくみ 11P
- ③ お金を増やす手法(資産形成) 15P
- ④ 「借いる」について 24P
- ⑤ 金融トラブルを避けるために 29P



# ① ライフイベント ～どれぐらいお金が必要か



# ①ライフイベント



一例ですが、このようなライフイベントを迎える方は比較的多いと思われます。それぞれのイベントでどれくらいお金がかかるとおもいますか？

## 基本給と手取り収入の違い

基本給からは税金等が引かれるため、手取り収入は基本給より数万円程度少なくなります。

※イメージ

基本給20万円－税金等4万円＝手取り収入16万円

(時間外手当・通勤手当・役割手当等は基本給にプラスされるので、これらが多い場合は、基本給よりも手取り収入が多いこともあり得ます。)





## 生活にかかるお金 = 支出

- 食費                    ~ 外食も含む
- 住居費                ~ 家賃
- 水道光熱費        ~ 水道・電気・ガス料金
- 通信費                ~ 電話やネット料金
- 交通費                ~ ガソリン・バス代
- 被服費                ~ 洋服・下着
- 教養娯楽費        ~ 学習・趣味・娯楽
- そのほか             ~ 冠婚葬祭・医療費
- 貯蓄                    ~ 貯めておくお金



## 貯蓄のポイント

収入 - 支出 = 貯蓄  
ではなく、

収入 - 貯蓄 = 支出  
にしよう！

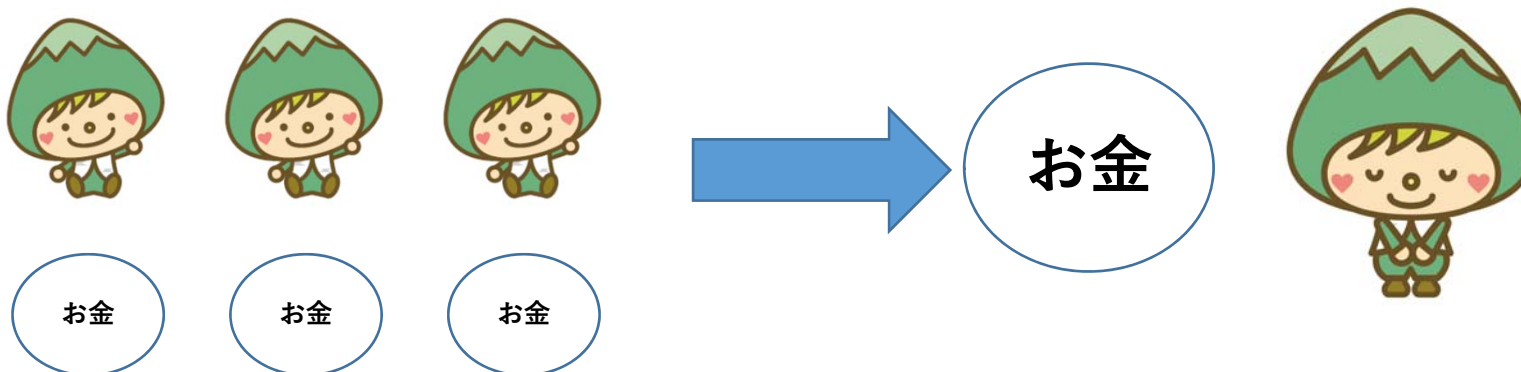


## ② 保険の仕組み

## ②保険の仕組み

保険とは、  
病気、事故によるケガなどの時に備えて、みんなですこしずつお金を出し合って、困っている人に必要なお金が支払われる仕組み

社会保険と民間保険の2種類がある



# 社会保険

日本には、年金保険、医療保険、介護保険、雇用保険、労災保険の制度があり、これらをまとめて社会保険制度といいます。





## 民間保険



**亡くなった時に保険金が支払われる生命保険  
や車で事故を起こしたときに保険金が支払  
われる損害保険などのように、任意で保険料  
を支払うタイプの保険。**

**どの会社のどんな保険に加入するかは、個人  
の自由のため、ライフプランに合わせて組み  
合わせます。**

# ③ お金を増やす手法 (資産形成)

### ③お金を増やす手法(資産形成)

#### まずは貯金が大前提

しかし、現在の金利水準では、貯金のみでお金が増えたと感じることは少ない。

例えば、定期預金(期間を決めてお金を預ける金融商品)に100万円預けた場合、

**100万円 × 金利0.002% = 毎年20円の利子**





## 金融商品の比較



・各金融商品には以下の特徴がある  
収益性～どれぐらいお金が増えるか

安全性～預けたお金が減る心配があるか

流動性～お金を引き出しやすいか

※全てを完全に満たす(ローリスクハイリターン)金融商品はない!

## 預金・貯金



- ・通帳に入っているお金のこと
- ・出し入れが簡単
- ・金融機関ごとに元本1,000万円までとその利息が国の制度で保証されている

収益性：▲とても低い(金利はほぼゼロ)

安全性：◎とても高い

流動性：◎とても高い

# 債券

- ・国や企業にお金を貸すことで、それぞれ「国債」や「社債」という
- ・定期的に利子が支払われ、満期になると貸した分のお金が返ってくる

収益性：△低い

安全性：○「国債」は高い

△「社債」は企業次第、一般的には低い

流動性：△低い



# 株式

- ・購入者(株主)は会社の一部を所有する
- ・会社の利益に応じて配当などを受け取る
- ・業績や景気に応じて株式の価値が変動する
- ・大金が必要になる場合が多い

収益性: ○とても高い

安全性: △低い

流動性: ○高い



## 投資信託



- ・多くの人から集めたお金を1つにまとめて大きな資金にし、株式等に投資する仕組み
- ・業績や景気に応じ株式等の価値が変動する
- ・少額から購入でき、分散投資がしやすい

収益性：○～◎投資対象次第

安全性：△～○投資対象次第

流動性：○高い



## 金融商品の特徴まとめ

	収益性	安全性	流動性
預金・貯金	▲	○	○
債券	△	○国債 △社債	△
株式	○	△	○
投資信託	○～○	△～○	○

# 投資信託に関する留意事項

- 投資信託は預金、保険契約ではありません。
- 投資信託は預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当金庫が取り扱う投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当金庫は販売会社であり、投資信託の設定・運用は委託会社が行います。
- 投資信託は元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、組入有価証券等の価格下落や組入有価証券等の発行者の信用状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがあります。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替相場の変動等の影響により、基準価額が下落し、元本欠損が生ずることがあります。
- 投資信託の運用による利益および損失は、ご購入されたお客様に帰属します。
- 投資信託には、換金期間に制限のあるものがあります。
- 投資信託の取得のお申込みに関しては、クーリング・オフの適用はありません。
- 投資信託のご購入にあたっては、あらかじめ最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等を必ずご覧下さい。
- 投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等は当金庫本支店等にご用意しています。
- 当資料は当金庫が独自に作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

# ④ 「借りる」について



## 「借いる」について

- お金を「借いる」ことは、**将来の収入の先取り**
- 高額である住宅の建築や購入は、必要な金額を貯めるのに時間がかかることが多いので、多くの人が**住宅ローン**を利用
- お金を「借いる」と一般的に**利子(金利)**が発生
- 消費者金融ローンやカードローンなどを利用する際は、**借い過ぎに注意！！**
- **後払い(クレジットカード)**でも手数料(実質的には金利)が発生することがある

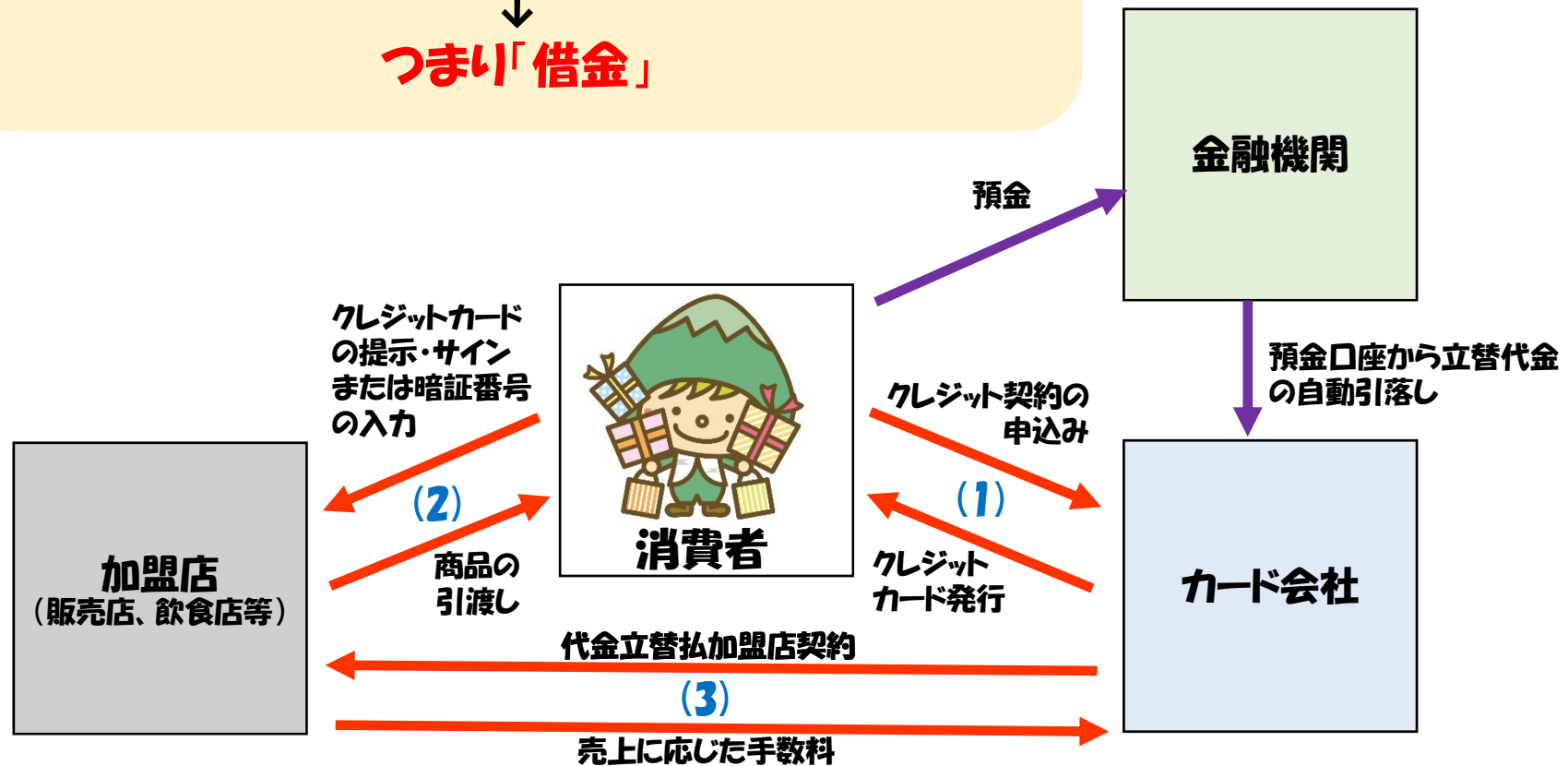


# 後払い(クレジットカード)を知ろう①

クレジットとは、買い物等の代金を**後払い**にすること

↓  
カード会社に立て替えてもらうこと

↓  
**つまり「借金」**



## 後払い(クレジットカード)を知ろう②



- (1) クレジットカードを使うことは、**お金を借りること**
- (2) 使い方は、「**クレジット**」と「**キャッシング**」に大別される。  
クレジット : 物やサービスを買うためにカードで**お金を借りる**  
1回払い(一括払い)、2回払い、…12回払い、…36回払い、  
リボ払い等がある。  
キャッシング: クレジットカードを使い**お金を引出す(借りる)**

### (3) **手数料(金利)**を知ろう(手数料の一般例)

1~2回	6~15回	18~36回	リボ払い	キャッシング
なし	11~15%	12~15%	12~15%	15~18%

- (4) **リボ払い**は、いくら使っても毎月の返済額が一定だけど、借入額がなかなか減らず、支払う金利が大きくないがち
- (5) **自分のルール**を定めることがおすすめ  
例「1回払いだけにする」、「1か月に●万円まで利用」

※手数料(金利)は、利息制限法により、上限金利が定められています。

## お金を「借いる」時は



- **返済のイメージを持とう！**  
(毎月の返済額や返済期間の確認)
- **金利に注意しよう！**
- **クレジットカード等では、年収の1/3を超える金額を借ることができないことに注意しよう！**  
また、収入があっても、ギャンブル等の不自然な点のある使い道は借られないことに注意しよう！

**⑤金融トラブルを  
避けるために**

## 金融トラブルを避けるために



### ・おいしい話には気を付けよう！

「ローリスク・ハイリターン」はあり得ない

= 「おいしい儲け話」「絶対に儲かる」はありません！

### ・向こうから近寄ってきててもはっきり断ろう！

「今だけ」「あなただけ」には要注意！ 遠慮は無用。「いいません」とはっきりと断りましょう。

そこまでおいしい話なら、「あなた自身がやれば良いのでは」と思いませんか？

### ・万が一トラブルに遭っても、決して諦めないで！

ひとりで悩まずに！ 早めに適切な相手に相談することで道が開ける。

悪質な業者との契約の取り消し・無効を求めることも一つ。

188番(消費者ホットライン)に電話して相談しよう。

## 多重債務とは

- 複数の業者から返しきれない借金を背負ってしまふことがあります。
- 軽い気持ちで高金利の借金をすると、借金はすぐに膨らみます。
- 収入の範囲内で生活すること、高金利の借金をしないことが重要です。



多重債務に陥ってしまったら、**多重債務相談窓口**に相談しましょう。

### 多重債務になる原因

- 無計画な利用・依存症
- その場しのぎで別のローンを組む
- 契約内容を十分に把握していない
- 生活苦・低所得 事業資金の資金繰り
- 悪質金融業者の被害
- 連帯保証人

